

2013年10月21日

名古屋市立中学校生徒の転落死に係る検証委員会
委員長 蔭山英順 様

「名古屋市立中学校生徒の転落死」事件の検証に関する要望書

あいち県民教育研究所
所長 榊 達雄

名古屋市立明豊中学校に通う2年男子生徒の「転落死」事件に関する貴委員会の検証作業を、期待をもって注視しています。

あいち県民教育研究所（1991年結成）は、県民の立場から、これまで子育て・教育に関する調査研究活動をすすめ、西尾の大河内清輝君の「いじめ自殺」事件や名古屋市の少年「5000万円」恐喝事件では独自調査を実施し報告書を発行しました。その調査で明らかになったことは、事件に関する子ども間トラブルが複合的、構造的な問題のなかで生じていることでした。

以下、今回の不幸な事件の本質が明らかになることを願い、貴委員会の検証作業をすすめるにあたって要望します。

< 要望項目 >

検証作業にあたっては、事件の個別生徒間トラブルのみを検証対象とせず、当該中学校の生徒全体の生活実態（その特徴）や小学校時の実態、地域の実態なども対象にした、総合的な検証作業を要望します。

あわせて検証作業にあたっては、学年・学級の担当教師の生徒指導上の問題のみを検証対象とせず、当該学校の学校教職員の勤務実態や生徒指導の特徴を明らかにする、総合的な検証作業を要望します。

上記の総合的な検証作業は、事件が生じた当該学校にとどまらない問題を提起していると思われます。第二、第三の悲しい事件を起こさないためにも、検証作業によって、愛知の教育をめぐる構造的な問題が明らかになるような検証結果（報告書）の公表を期待します。

以上

【連絡先】 あいち県民教育研究所
〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町2-18-1 あいち子ども会館内
Tel & Fax : 052-623-2373 E-mail:minken@aichi.email.ne.jp